

製品安全性データシート (MSDS)

1. 製品名および会社情報

製品名 アルカリ土壌中和剤「ドクターペーハー」 (緑化用)

会社名 株式会社インターファーム

住所 東京都西東京市柳沢 6-1-11 Ys 柳沢ビル 2F

担当者 緑化資材事業部 吉田信一

緊急連絡先 042-452-1639 ファックス 042-452-1622

作成：2006年2月5日 修正：2012年2月14日

2. 製品の情報

① 単一製品・混合物の区別： 混合物 (りん酸塩、有機酸、粘土鉱物)

② 用途： アルカリ土壌中和剤

③ pH： 2~3

④ 形状： 粉体

⑤ 比重： 0.9~1.2

3. 危険有害性の分類

① 分類の名称：危険有害性の分類基準に該当せず (日本化学工業協会分類)

② 危険性：含有する活性炭は可燃性を有するが、製品中において活性炭は水分35%を保有しているため火災および粉塵爆発の危険はない。

③ 有害性：特に注目すべき情報はない。

④ 環境影響：リン分およびpH(酸性)による影響が考えられる。

4. 応急措置

① 目に入った場合：流水で充分洗浄する。

違和感がある場合は眼科医の診療を受ける。

② 皮膚についた場合：水洗し、必要に応じ石鹼を使用し中和する。

③ 吸入した場合：新鮮な空気のところへ移し、うがいを実施する。

④ 飲み込んだ場合：少量では問題はない。多量の場合はコップ2杯程度の水を与えた後吐き出させ、直ちに専門医の診療を受ける。

5. 火災時の措置

不燃性につき該当しない。

6. 漏出時の措置

- ① 一箇所に集め産業廃棄物として処理する。(廃酸)
- ② 洗い流す場合は、規定の廃水処理を要する。(中和処理)
- ③ 作業に当たっては、保護具(ゴム手袋)着用が望ましい。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- ① 取り扱い：本品は酸性(pH 2～3)であり、皮膚、粘膜にふれたり、眼に入らぬよう注意する。
散布後、直ちに土壌と混合する。
- ② 保管：高温多湿の場所を避け保管する。

8. 暴露防止措置

- ① 許容濃度：該当しない
- ② 設備対策：特に必要はない。
- ③ 保護具： 保護メガネ 着用が望ましい。
保護手袋(ゴム製) 着用が望ましい。
保護衣 必要に応じて着用する。

9. 物理性/化学性

- ① 外観：僅かに褐色の粉体
- ② 融点：190℃以上
- ③ 揮発性：なし
- ④ 酸度 pH2~4
- ⑤ かさ密度 0.9~1.2

10. 危険性情報

- ① 可燃性：なし
- ② 発火点：250℃以上
- ③ 自然発火性：なし
- ④ 粉塵爆発性：なし

11. 有害性情報

- ① 皮膚腐食性：特筆すべき情報はない。
- ② 眼刺激性：眼に入ると刺激性を持つ。
- ③ 皮膚刺激性：長時間の接触により刺激を起こす可能性がある。

- ④ 急性毒性：経口 ラット LD50 5000mg/kg
経皮 ラビット LD50>2000mg/kg
- ⑤ 慢性毒性：特に注目すべき情報はない。
- ⑥ がん原性：特に注目すべき情報はない。
- ⑦ 変異原性：特に注目すべき情報はない。
- ⑧ 生殖毒性：特に注目すべき情報はない。
- ⑨ 催奇形性：特に注目すべき情報はない。

1 2. 環境影響情報

- ① 分解性：加水分解するが環境影響は変わらない。
- ② 蓄積性：ない。
- ③ 魚毒性：ない。
- ④ その他：リンは土壌中のアルミナ、鉄イオン、カルシウムイオンなどに固定されるが、水域への直接投与は富栄養化の原因となるため避けること。

1 3. 廃棄上の注意

- ① 産業廃棄物として適正処理する。特に田畑、湖沼への投棄を避ける（pH）
- ② 遵守法規：「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」

1 4. 輸送上の注意

- ① 落下、破袋なきよう積み込む。
- ② 酸、酸化剤との混載を避ける。

1 5. 適用法令

- ① 製品としての適用法令はない。

1 6. その他

危険・有害性情報は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意すること。